第 19 講 【地誌編】オセアニア
PART 2 オセアニアの産業，他地域との結びつき

Chapter 1　オセアニアの産業

目標
オーストラリアの農業について，生産性という観点から理解しよう。
ニュージーランドから日本へと，カボチャが輸出されている背景を知ろう。

1　オーストラリアの産業

1. オーストラリアの農業

・オーストラリアでは，農業機械を導入した大規模な〔　　　　　　〕**農業**が行われる。
　→省力化が進められ**労働生産性**は〔　　　　〕が，土地が広大であるため**土地生産性**は〔　　　　〕。
・人口が少ないため国内市場は小さく，**商業的**な農業が中心となる。

＜オーストラリアの農業区分と特徴＞

農業の種類	地域・説明
企業的牧畜	・**乾燥するグレートアーテジアン盆地では〔　　　　　　　　〕を掘り抜き井戸によって自噴させ，羊や牛を飼育している。** ・**降水量の多い北東岸ではフィードロットによる〔　　　　〕の飼育が盛ん。**
企業的穀物農業	・**南部のマリー川流域は，**やや降水量が少ない。**スノーウィーマウンテンズ計画**により**灌漑**が整備され，大規模な〔　　　　〕栽培が行われている。
酪農	・やや冷涼な**南東部**の大都市周辺。大消費地向けの**乳製品**の生産が盛ん。
地中海式農業	・**南西部の地中海性気候の地域。**〔　　　　　〕など耐乾性の果樹栽培が盛ん。

2. オーストラリアの鉱産資源

・オーストラリアはさまざまな**鉱産資源**に恵まれる。〔　　　　　　〕や**石炭**は広く〔　　　　　　　　〕で採掘され，外国への輸出が中心となっている。
・ボーキサイト・ウラン・リチウム・〔　　　　　　　　〕も産出。日本の最大の**液化天然ガス**（LNG）の輸入相手国である。

＜オーストラリアの主な鉱産資源＞

鉱産資源	地域・説明
鉄鉱石	**北西部のピルバラ地区**で産出し，輸出量は世界一（2017年）。**中国**，**日本**への輸出が多い。
石炭	〔　　　　〕**造山帯**である，東部の**グレートディヴァイディング山脈**周辺で採掘。
ボーキサイト	〔　　　　　　　　　　〕の原料となる資源。熱帯を中心に分布し，オーストラリアでは北部の**ウェイパ**などで産出。
金鉱	南西部の**カルグーリー**など。**パース**は，金鉱の積み出し港として発展した都市。

2　ニュージーランドの農業

・ニュージーランドは鉱産資源に乏しく，工業もあまり発達していないため，**農業**や**牧畜業**が主産業。

→西岸海洋性気候に属し，年間を通じて牧草が生育する自然環境のため，広い範囲で〔　　　　　　　　　　〕が盛ん。

・西部では〔　　　　　　〕の**風上**斜面側で**多雨**のため，〔　　　　〕および森林資源を活かした**林業**が盛ん。

・東部では**風下**斜面側で**やや少雨**のため，〔　　　　〕と**小麦**栽培が盛んである。

・北半球と季節が逆であり，**端境期**にあたる日本の冬には，ニュージーランド産の〔　　　　　　　〕が市場に出回る。

3　島嶼部の産業

・**自給的**な農業（ヤムイモやタロイモの栽培）が中心だが，一部では**商業的農業**も。製造業などの工業は未発達。〔　　　　　　　　〕など豊かな自然を活かした**観光業**が主産業の国も。

国	産業
ナウル	〔　　　　〕鉱が採掘されたが現在は枯渇。産業転換が求められている。
ニューカレドニア	**サンゴ礁**で知られるフランス領の観光地。**ニッケル鉱**の産出も多い。

まとめ

土地が広大で土地生産性は低く，機械化による省力化で労働生産性は高い。季節が逆であるため，ニュージーランド産のカボチャが，端境期である日本の冬に市場に出回る。

Chapter 2　他地域との結びつき

目標
オーストラリアとニュージーランドの，産業の特徴を理解しよう。
オーストラリアの貿易における，近年の変化を理解しよう。

1　オーストラリアとニュージーランドの産業と貿易

1. オーストラリアとニュージーランドの産業と貿易
・オーストラリアとニュージーランドは，ともに**人口が多くなく**，**GNI が小さい**。
　→市場規模が小さいため，内需型ではなく，［　　　　　］を目的とする産業が成長した。
・一方で，ともに先進国であり経済レベルが**高い**ため，外国からの工場も進出しづらく，
　［　　　　　　］の発展は見られない。
・主な輸出品目は，オーストラリアでは［　　　　　　　　］や**農畜産物**など，ニュージーランドでは**酪農品**，**肉類**，木材などの［　　　　　　　　］が中心である。

＜オーストラリアとニュージーランドの人口・経済的指標＞

国	人口 (2020年)	GNI（2019年）	1人当たりGNI（2019年）
オーストラリア	2,550万人	13,520億ドル	55,100ドル
ニュージーランド	482万人	2,039億ドル	42,610ドル

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

＜オーストラリアとニュージーランドの輸出品目・輸出相手国 (2020 年) ＞

	オーストラリア		ニュージーランド	
	輸出品目 (%)	輸出相手国 (%)	輸出品目 (%)	輸出相手国 (%)
1	**鉄鉱石** (32.2)	**中国** (40.8)	**酪農品** (26.5)	**中国** (27.8)
2	**石炭** (11.9)	**日本** (12.4)	**肉類** (14.0)	**オーストラリア** (13.6)
3	天然ガス (10.0)	韓国 (6.5)	**野菜と果実** (8.0)	アメリカ合衆国 (11.0)
4	金 (7.0)	アメリカ合衆国 (5.3)	**木材** (6.8)	日本 (5.9)
5	**肉類** (4.0)	**イギリス** (4.2)	食用調製品 (5.9)	韓国 (2.9)

（『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』により作成）

2. オーストラリアの貿易相手国の変化

年代	最大の貿易相手国
独立〜1960年代	・〔　　　　　　　　　〕が最大の貿易相手国。 ・**化学繊維**の普及で〔　　　　　〕の輸出が減少。産業構造の転換が求められる。
1970年代	・〔　　　　　〕が最大の貿易相手国。 ・**イギリス**の〔　　　　〕に加盟を契機に，オーストラリアは**アジア太平洋地域**との連携が重要となった。経済成長により資源需要が拡大した日本が，最大の貿易相手国となった。
2000年以降	・現在の最大貿易相手国は，〔　　　　　〕。 ・中国の工業化，特に〔　　　　　〕生産の拡大により，オーストラリアから中国への**鉄鉱石**や**石炭**の輸出が拡大。

2　緊密化するアジアとの関係

・かつては**ヨーロッパ（イギリス）**との関係が強かったが，1970 年代以降は**アジア太平洋地域**と接近。経済的な一体化が進められている。

→ 1989 年には**アジア太平洋経済協力（APEC）**結成，2018 年には**環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定**（〔　　　　　　　　　〕**協定**）発効。

・また，〔　　　　　　　　　　　〕**政策**撤廃後は，**移民**のみならず観光客や**ワーキングホリデー**，語学留学などを通じて積極的に外国人を受け入れ，**人的交流**も活発になっている。

まとめ　国内市場が小さいため，輸出を目的とする産業が発展。経済レベルが高く外国からの工場が進出しないため，工業化は限定的。
中国が貿易最大相手国となり，鉄鉱石や石炭の輸出が拡大している。

第 19 講　PART 2　確認問題

1 オーストラリアにおいて小麦栽培が盛んな地域はどこか。

①　マリー川流域　　②　南東部の大都市周辺
③　南西部沿岸　　④　グレートアーテジアン盆地周辺

2 オーストラリアの鉱産資源の主産地を示した組み合わせとして，**正しくないもの**はどれか。

①　金鉱：パース
②　石炭：グレートディヴァイディング山脈周辺
③　鉄鉱石：ピルバラ地区
④　ボーキサイト：ウェイパ

3 日本の冬に市場に出回る，ニュージーランド産の農作物はどれか。

①　カボチャ　　②　キャベツ
③　ニンジン　　④　ピーマン

4 ニューカレドニアでの産出量が多い鉱産資源はどれか。

①　すず鉱　　②　銅鉱
③　ニッケル鉱　　④　ボーキサイト

5 オーストラリアの最大の輸出品目はどれか。

① 金　② 石炭
③ 鉄鉱石　④ 肉類

6 ニュージーランドの最大の輸出品目はどれか。

① 小麦　② 木材
③ 酪農品　④ 羊毛

7 オーストラリアの 1970 年代と現在の最大の貿易相手国は，それぞれどこか。

① 1970 年代：イギリス，現在：アメリカ合衆国
② 1970 年代：イギリス，現在：中国
③ 1970 年代：日本，現在：アメリカ合衆国
④ 1970 年代：日本，現在：中国

8 アジア太平洋地域の経済的な連携を強めるため，1989 年に結成されたものはどれか。

① AFTA　② APEC
③ MERCOSUR　④ WTO

第19講 PART 2　確認問題 解答

1 解答：①

オーストラリアにおいて小麦栽培が盛んな地域は，南部の**マリー川流域**。スノーウィーマウンテンズ計画により灌漑が整備され，大規模な穀倉地帯となった。

2 解答：①

オーストラリアでの**金鉱**の主産地は，南西部の**カルグーリー**など。パースは，金鉱の積み出し港として発展した都市。

3 解答：①

日本の冬に出回るニュージーランド産の農作物の代表例は，夏野菜である**カボチャ**である。

4 解答：③

ニューカレドニアでの産出量が多い鉱産資源は，**ニッケル鉱**。メラネシア南西部に位置するニューカレドニアは，フランスの国外領土である。

5 解答：③

オーストラリアの最大の輸出品目は**鉄鉱石**で，全輸出額の 30%強を占めている。

6 解答：③

ニュージーランドの最大の輸出品目は，**酪農品**である。同国では北島で酪農が盛んである。

7 解答：④

オーストラリアの 1970 年代の最大の貿易相手国は**日本**，現在は**中国**である。1960 年代前半までは，イギリスが最大の貿易相手国であった。

8 解答：②

アジア太平洋地域の経済的連携を強めるために 1989 年に結成されたのは，**APEC**（**アジア太平洋経済協力**）である。APEC には日本も参加している。